

町長就任のごあいさつ



葉山町長 山梨 崇仁

受け継がなければならぬ。今と将来の葉山のために、粉骨砕身、働かせていただきます。

さて、昨今は、都市部や交通便利性の高い地域への移住で、三浦半島でも、人口減少が進んでいます。しかし、葉山町はわずかながら転入される方が多く、人口が増加している町です。また、高齢化率が高い地域でありながらも、医療費は他の町に比べて低く、いかに元気な高齢の方々が多くいらっしゃるかを表しているともいえます。

明治27年に葉山御用邸が竣工されてから118年。葉山町は歴史と文化・芸術の町、風光明媚で温暖な別荘地として日本中に知られる町です。

私は、このたび第10代葉山町長に就任いたしました山梨崇仁です。これまで多くの先人たちが培ってきた、葉山の歴史と伝統を、将来へよりよい姿で

そが、将来へ受け継がなければならない、大切な葉山の財産なのだと思います。

私には、夢があります。それは最先端の科学技術と、伝統的な古き良き街並みの融合する町として、葉山町が日本中に誇れる第二の財産を創造していくという事です。例えば、ソフトウェア

アや知的産業の町として、自然と共生する「静かな産業」のエコタウン。例えば、自然再生エネルギーによるエネルギー自給率100%の町。電柱のない、電柱の見えない景観の町。これが私の将来の葉山ビジョンです。

そのためにもまずは、多くの葉山町民の皆様にも、「葉山が変わった」という一時の姿ではなく、「変わり続ける」という継続の姿を感じていただければ、前例にとられない柔軟な発想により、政治家としての夢に向かって、終わることのない改革への挑戦を続けてまいります。

私は4項目12点の政策をマニフェストに掲げ、皆様から町長としての信任を受けました。防災対策やごみ問題、下水道問題など、課題が山積している葉山町行政ですが、財政状況は厳しく、町民の皆様にご協力いただかなければならない点が多々あります。

例えば、防災対策について。災害に強いまちづくりの基盤整備は、緊要の課題として取り組まなければなりません。しかし、災害時の避難や事前の対策には、やはり地域を知る、地域にお住まいの皆様の見識なくして最善の方策は見出せません。そういった際には、なにとぞ皆様のお力添えをいただきましたようお願い申し上げます。

そして、何よりもすべての基盤となる行政、つまり、町役場が皆様のそばに寄り添わなければいけません。町民の皆様の想いは何か、お客様目線のサービス提供を常に考え、その先を提案できる仕事をする。そのためにも、職員の研修、教育による人づくりで、役場の職員が考え、しっかりと議論をし、目的と意思疎通の明確な組織につくり上げていかねばならないと考えております。

私は、行政の仕事を通じて「ともにまちをつくる」という想いを、町民の皆様と共有し、実感していけることを楽しみにしています。葉山町にご期待いただく皆様の想いを常に背負い、決して変わることをない信念のもと、ともに新しい時代を築いていく一つの力として、末永いご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



▲ 第27回葉山町民駅伝大会にて (写真は葉山町陸上競技協会提供)

表彰コーナー

1月、2月に、次の表彰式がありました。
表彰されたみなさん、おめでとうございます。

葉山町農産物品評会



降らず気温も低くなり、野菜の生育が遅れています。このような栽培条件の中、野菜や果物、加工品など204点の出品をいただきました。13日に即売をし、町民の皆さんに、お買い求めいただきました。

上位入賞したのは次の方々です。
受賞者（敬称略）と受賞品目



神奈川県知事賞

永津 勝司（長ネギ）

葉山町長賞

鈴木 由美子（夏みかん）

よこすか葉山農業協同組合組合長賞

鈴木 恵子（梅ジャム）

葉山町議会議長賞

石井 京子（大根）

葉山町農業委員会会長賞

三留 宏子（三浦大根）

横須賀三浦地域県政総合センター所長賞

永津 和良（夏みかん）

神奈川県園芸協会会長賞

永津 勝司（白菜）

葉山町朝市農産物加工振興会会長賞

永津 幸江（味噌）

問合せ 産業振興課 ☎内線372

永年勤続者・技能功労者・優秀技能者・優良小売店舗表彰

1月26日、町商工会館で平成23年度の永年勤続者・技能功労者・優秀技能者・優良小売店舗表彰の表彰式がありました。（敬称略）

永年勤続者表彰

山崎 宣幸 葉山観光開発(株)

技能功労者表彰

三留 知一 (株)三留モーター商会

常磐 正彦 (有)ガレッジ・ボーイ

優秀技能者表彰

長谷川 正治 (有)長谷川材木店

鈴木 正博 バンカーズ

優良小売店舗表彰

レストラン ミラマール

問合せ 産業振興課 ☎内線372

統計功績者表彰

2月4日、神奈川県民ホールにおいて、「平成23年度神奈川県統計功績者表彰式」がありました。統計功績者表彰は、国勢調査など各省庁が実施する統計調査に長年にわたり指導員や調査員として従事され、功績のあった方が各大臣や知事から表彰されるものです。葉山町からは次の方々が受賞しました。おめでとうございます。（敬称略）

総務大臣表彰

青柳 幸子

深町 長子

行谷 經子

梶山 淑子

神奈川県知事表彰

荒井 八千代



▲表彰式参加者（左から荒井さん、青柳さん、深町さん、行谷さん、梶山さん）

問合せ 企画調整課 ☎内線332

昨年夏以降の気温は高めで推移し、9月には台風の大雨、強風の影響がありました。12月からは一転して、雨が



季全国火災予防運動です

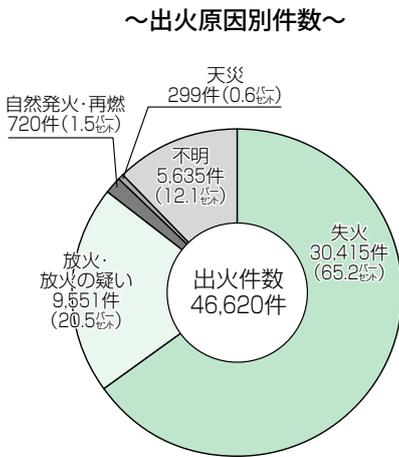
『ないで もう一度』

全国の火災件数・出火原因

平成22年中の全国の総出火件数は4万6,620件と前年に比べ4,519件(8.8%)減少してきていますが、1日当たり128件の火災が発生しています。そのうち建物火災は2万7,137件(58.2%)です。

また、失火による火災は3万415件(全体の65.2%)で、多くは火気取扱いの不注意や不始末から発生しています。

出火原因別にみると、放火が5,612件で最も多く、こんろ(4,694件)、たばこ(4,475件)の順となっています。コンロによる火災の63.3%に当たる2,970件が消し忘れ、たばこによる火災の57.3%に当たる2,565件が不適当な場所への放置によるもので、日頃の不注意から火災が発生していることがわかります。



建物火災による死者の状況

平成22年中の建物火災による死者数は1,314人で、建物用途別にみると、住宅(一般住宅、共同住宅、併用住宅)での死者は1,186人で建物火災による死者の90.3%を占めています。死因別は一酸化炭素中毒・窒息による死者が541人(41.2%)で最も多く、次に火傷による死者が440人(33.5%)となっています。

住宅火災による死者の状況

平成16年の消防法改正で、全ての住宅を対象に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、平成23年6月1日時点での推進設置率は全国で約71.1%となっています。

そのような中、平成22年中の住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)は1,022人と前年1,023人と比較は横ばいであったものの、1,220人を記録した平成17年以降からは減少傾向が続いています。

また、時間帯別にみると、22時から翌朝6時までの時間帯の平均は111.3人で、全時間帯の平均82.6人の1.3倍となっています。死に至った経過の発生状況は、逃げ遅れが604人(全体の59.1%)と最も多くなっています。

住宅用火災警報器の設置義務化が始まっています



平成23年6月1日より義務化が始まり住宅用火災警報器の設置が必要です。住宅火災の死者数の半数以上が逃げ遅れによるもので、火災の早期発見が非常に重要です。

住宅用火災警報器の奉功事例

居住者が2階で就寝中、1階居間に設置していた住警器の鳴動に気付いた。階段を下り居間の戸を開けたところ、煙が噴出したため、直ちに就寝中の家族に火災を知らせ、水道ホースを使用して初期消火をするとともに、近隣住民に119番通報を依頼した。

まだ設置していない人は、大切な生命と財産を守るため、住宅用火災警報器を設置してください。

不明な点はお問合せください。

問合せ 消防本部

☎876-0119

内線323



3月1日から7日は春 全国統一防火標語

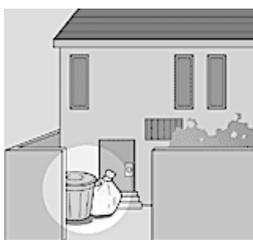
『消したはず 決めつけ』

放火を防ごう！

放火は毎年多く発生しています。放火は自分自身がいくら注意や警戒をしても防ぎきれないこともあります。放火されない」「放火させない」環境を作ることで放火を少なくすることができます。また、「放火されても被害を大きくさせない」のも予防のうちのひとつです。町民みんなで放火を防ぎましょう！

『二戸建て住宅の放火対策』

- ・家の周りに燃えやすいものを置かず、整理整頓する。
- ・郵便受けの新聞やちらし、洗濯物は屋内に取り込む。
- ・ゴミは決められた日の朝に出す。
- ・門扉、通用口、車庫、物置等のドアは必ず施錠する。
- ・照明器具などで、夜間も家の周囲を明るくする。
- ・自転車、自動車カバーは防炎品を使用する。



『共同住宅の放火対策』

- ・廊下、ホール等の共用部分に可燃物を置かないよう管理を徹底する。

- ・郵便受けの新聞やちらし、洗濯物は屋内に取り込む。
- ・ゴミは決められた日の朝に出す。
- ・自転車、自動車カバーは防炎品を使用する。

放火されない環境づくりを！



『店舗の放火対策』

- ・死角となりやすいトイレ、バックヤード、階段等の可燃物を整理整頓し、不用品を除去する。
- ・使用しない箇所は施錠する。
- ・従業員に対して防火指導を行う。



『学校の放火対策』

- ・校門などの出入り口は、必ず施錠する。
- ・巡回警備を行う。
- ・敷地内に放置されている可燃物等を整理整頓し、不用品を除去する。
- ・空き教室は施錠する。
- ・地域住民、PTA、自治会等との協力体制を強化する。

山火事に注意！

例年、林野火災は春先を中心に発生しています。この原因としては、降水量が少なく空気が乾燥し強風が吹くこの時期に火入れが行われたり、ハイキングなど入山者が増加しているものと考えられます。

林野火災の原因は、たばこ、たき火や火入れなどの人的要因が圧倒的に多く、消火には多くの困難が伴うことから、出火防止の徹底が重要です。

『山火事を防ぐためには』

- ・火気等を使用する際はその場を離れず、使用後は完全に消火してください。
- ・たばこの吸殻は必ず消すとともに、投げ捨てはしないでください。
- ・火遊びはしないようにしましょう。

